



令和元年10月24日
仙台管区気象台

10月25日を中心とする大雨の見通し

台風第19号による記録的な大雨のあと、25日を中心に最も多い雨量が予想されます。大雨に対して早め早めの準備・対策をお願いします。

- 低気圧が九州の南海上にあって、ゆっくり東へ進んでいます。今後、この低気圧は、本州の南岸を東北東へ進み、25日夜には関東付近を通過して、26日朝には三陸沖へ進む見込みです。
- 東北地方では、太平洋側南部を中心に、25日から26日朝にかけて大雨となる見込みです。雨のピークは25日夕方から夜のはじめ頃で、1時間に50ミリの非常に激しい雨の降る所があるでしょう。
- 24日18時から25日18時までの24時間に予想される雨量は、太平洋側南部の多い所で100ミリの見込みです。その後も雨量は多くなるでしょう。

気象台が発表する防災気象情報に留意して早めの防災対応をとってください。

なお、本資料については仙台管区気象台のホームページの新着情報に掲載しましたので以下のURLからご覧ください。

<仙台管区気象台ホームページ>

<https://www.jma-net.go.jp/sendai/index.html>

問合せ先：気象防災部 予報課 電話 022-297-8103

10月25日を中心とする大雨の見通し

10月24日
16時時点の資料

台風第19号による記録的な大雨のあと、25日を中心に最も多い雨量が予想されます。大雨に対して早め早めの準備・対策をお願いします。

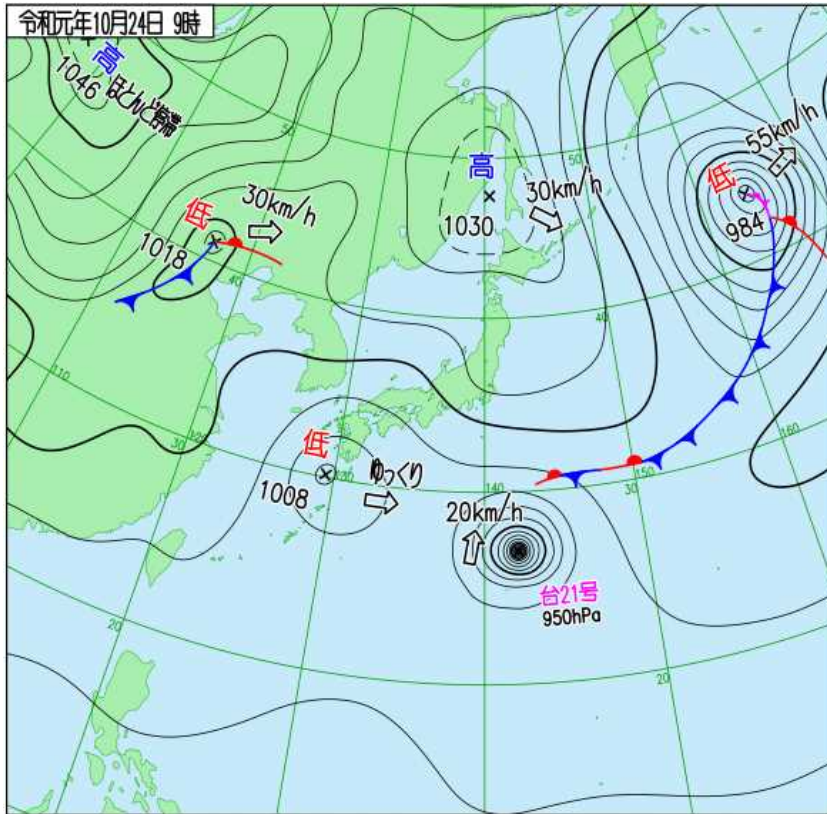
- 低気圧が九州の南海上にあって、ゆっくり東へ進んでいます。今後、この低気圧は、本州の南岸を東北東へ進み、25日夜には関東付近を通過して、26日朝には三陸沖へ進む見込みです。
- 東北地方では、太平洋側南部を中心に、25日から26日朝にかけて大雨となる見込みです。雨のピークは25日夕方から夜のはじめ頃で、1時間に50ミリの非常に激しい雨の降る所があるでしょう。
- 24日18時から25日18時までの24時間に予想される雨量は、太平洋側南部の多い所で100ミリの見込みです。その後も雨量は多くなるでしょう。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象庁HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

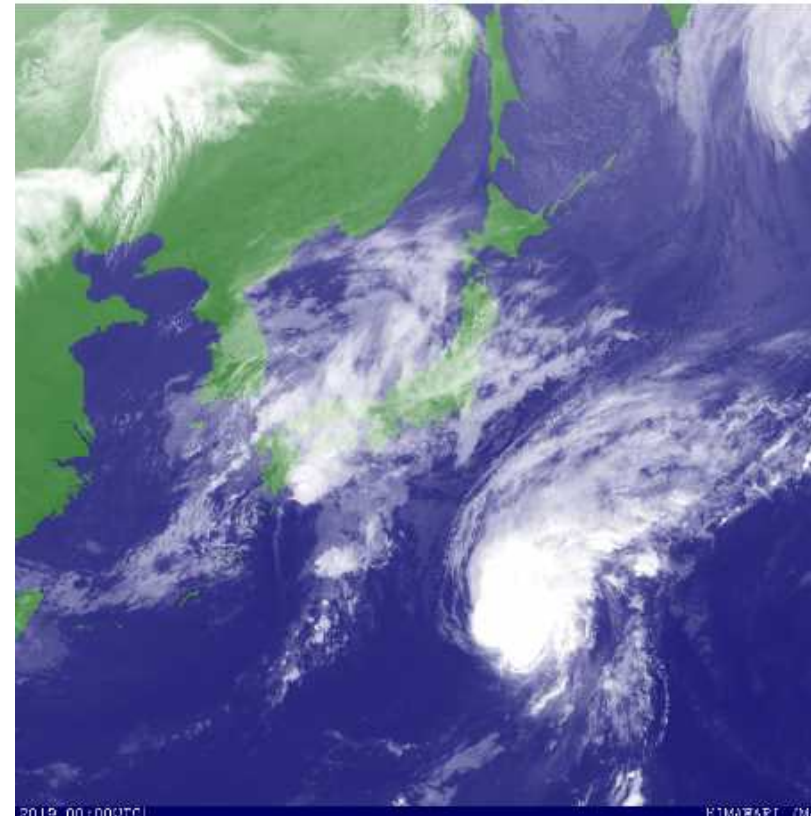
問い合わせ先：仙台管区気象台気象防災部予報課 : 022-297-8103

天気図と衛星画像

10月24日
16時時点の資料



24日09時
天気図

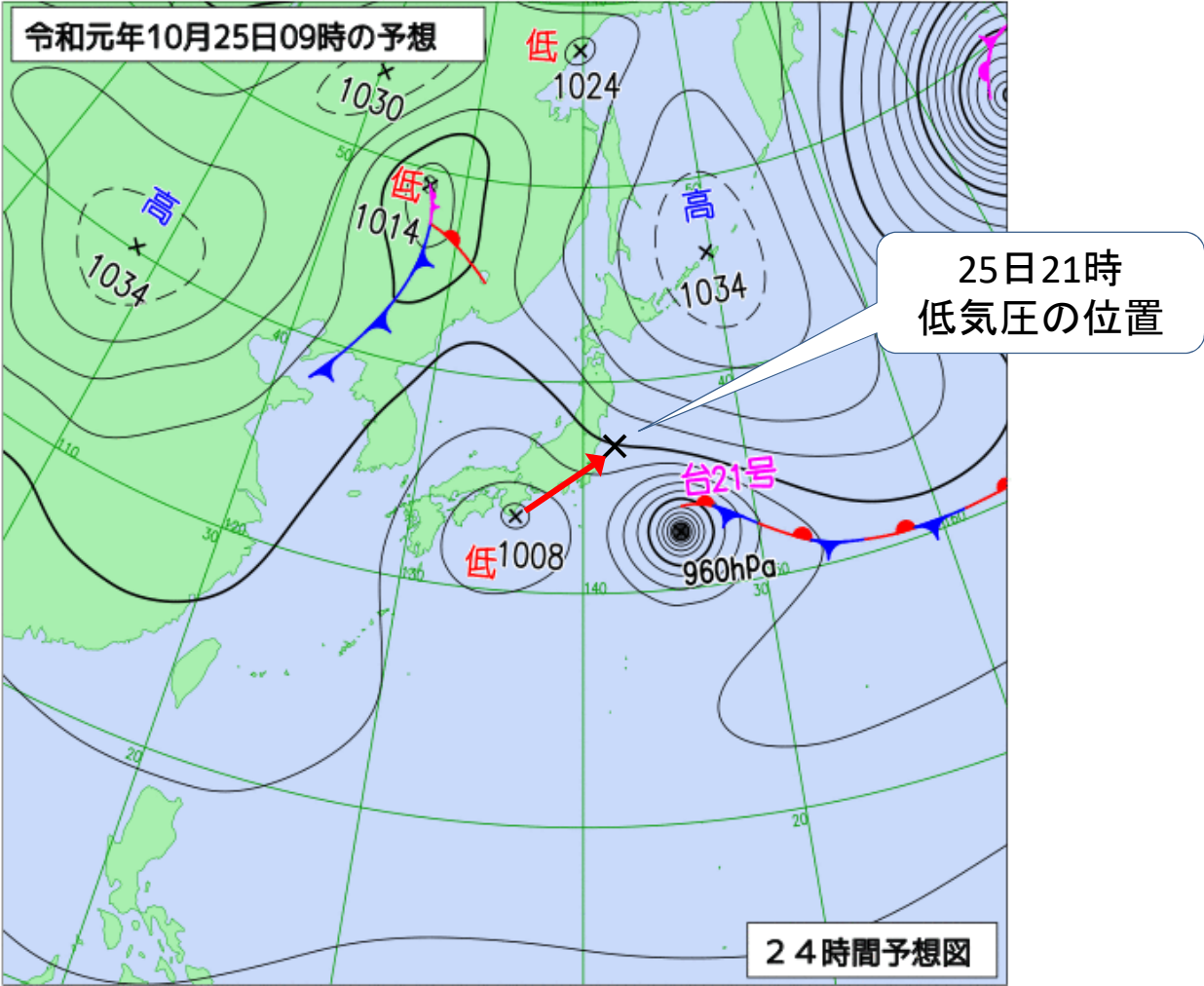


24日09時
衛星画像（赤外）

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図 : <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)
(衛星画像 : <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

予想天気図

10月24日
16時時点の資料



25日09時 予想天気図

今後の予想を含めた最新の情報は、地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：<https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)

大雨に対して警戒・注意を要する期間

10月24日
16時時点の資料

東北地方

			25日								26日	
			0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時
			未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く		
東北太平洋側	大雨・洪水 最大1時間雨量 (ミリ)	北部	1	1	1	1	5	15	25	25		
		南部	1	10	10	15	30	40	50	40		

 警報級  注意報級

25日から26日に予想される総雨量 太平洋側北部 100～150ミリ
太平洋側南部 100～200ミリ

宮城県

			25日								26日	
			0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時
			未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く		
宮城県	大雨・洪水 最大1時間雨量 (ミリ)	東部	1	10	10	15	25	30	40	30		
		西部	1	10	5	15	25	30	40	30		

 警報級  注意報級

25日から26日に予想される総雨量
東部仙南、西部仙南、東部仙台、西部仙台 100～200ミリ
その他の地域 100～150ミリ

大雨に備えて

10月24日
16時時点の資料

- 宮城県内は広い範囲で地盤が緩んでおり、通常より少ない雨量でも土砂災害が発生するおそれがあります。土砂災害に厳重に警戒してください。
- また、流木や流れ出た土砂等が河川や水路に堆積して普段より洪水や浸水の危険度が高まっている可能性があります。河川の増水や氾濫、低地の浸水に警戒してください。
- 気象台の発表する**警報・注意報や気象情報、気象庁ホームページの危険度分布に留意**するとともに、市町村の避難に関する情報に注意してください。
- 令和元年台風第19号による堤防の決壊等の被災状況を考慮し、洪水警報・注意報の発表基準（流域雨量指数基準）を引き下げて運用しています。

- ・地盤が緩んでいることから、がけには近づかない
- ・増水している河川、用水路等には近づかない
- ・農業施設等の見回りには十分注意

令和元年台風第19号のポータルサイトを立ち上げました。

予想を含めた最新の情報は、以下からご利用下さい。



https://www.jma.go.jp/jma/menu/R1T19_tohoku.html

【掲載内容】

○危険度分布、降水の状況等

○東北地方の各種気象情報（宮城県、岩手県、福島県）

○波浪・潮位の情報

問い合わせ先：

仙台管区気象台 気象防災部予報課 TEL 022-297-8103